

【第2期江田島市総合戦略】 具体的施策 現時点における成果と見直し

基本目標Ⅰ 地域で暮らすためのしごとをつくる。

プロジェクト1 しごとをつくる・しごとの場を確保する。

【重点取組項目】中小企業・小規模事業経営の専門家による相談(WS)

【対象者】 中小企業・小規模事業者

【内容】 中小企業・小規模事業者が抱える新事業展開、販路拡大、資金調達等の経営課題について、専門家を派遣し、課題解決のための支援を行います。

	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)
【KPI】 新規相談件数	60件	60件	60件	60件	60件
【想定人口効果】	[直接分+1.00人] [経済分+0.19人]	[直接分+1.00人] [経済分+0.19人]	[直接分+1.00人] [経済分+0.19人]	[直接分+1.00人] [経済分+0.19人]	[直接分+1.00人] [経済分+0.19人]
実績及び実績見込み	49件	48件			

《成果と見直し》

今年度もコロナ関連の支援金等の窓口相談が多く、経営課題の解決まで十分に取り組みなかったことから、件数は低調となった。今後、アフターコロナを見据えた事業者の取組み等の支援が行えるよう、引き続き商工会と連携し、経営継続のための専門家による相談が行えるよう事業者へ周知していく。

【重点取組項目】オフィスなどの誘致(WS)

【対象者】 小規模オフィスなどの設置により地方進出を予定する企業など

【内容】 マッチングセミナー等への参加により地方進出に興味を持つ企業などに働きかけ、現地視察ツアーの開催や市内事業者との交流、小規模オフィスを設置する企業への補助金交付によって、誘致を図ります。

	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)
【KPI】 事業者の来訪件数	15件	15件	15件	15件	15件
【想定人口効果】	[直接分+0.20人] [経済分+0.04人]	[直接分+0.20人] [経済分+0.04人]	[直接分+0.20人] [経済分+0.04人]	[直接分+0.20人] [経済分+0.04人]	[直接分+0.20人] [経済分+0.04人]
実績及び実績見込み	17件	21件			

《成果と見直し》

新型コロナウイルスの影響により、首都圏でのマッチングセミナーへの参加はできなかったが、お試し勤務体験ツアーを実施するとともに、県と既に進出している企業・金融機関等との関係構築に努めた。結果、進出済み企業や県の複数部署からの紹介へとつながり、目標を達成した。引き続き、関係者のネットワークを最大限に活用して来訪企業を募る。

【重点取組項目】創業者支援

【対象者】 創業者

【内容】 市内で新たな事業を行う創業者に対して、起業支援補助金を交付することで、創業者の事業支援を行います。

	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)
【KPI】 創業件数	4件	4件	4件	4件	4件
【想定人口効果】	[直接分+1.04人] [経済分+0.20人]	[直接分+1.04人] [経済分+0.20人]	[直接分+1.04人] [経済分+0.20人]	[直接分+1.04人] [経済分+0.20人]	[直接分+1.04人] [経済分+0.20人]
実績及び実績見込み	7件	10件			

《成果と見直し》

令和4年度は、10件の起業支援補助金が申請されており、目標件数を達成する見込みである。創業者の多くは個人事業主で、大きな投資無しで「身の丈にあった創業」を行うため、金融機関からの借入れを前提とせず、補助金での支援を求める傾向がある。引き続き、起業支援補助金の活用を促進し、創業者の支援を行う。

【重点取組項目】新規漁業就業者研修制度の活用

【対象者】 新規漁業就業者

【内 容】 新規漁業就業者が販路を拡大できるよう、広島県などの関係機関と連携した研修会（勉強会）を実施し、知識や人とのつながりを増やす機会の確保を図ります。

	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)
【KPI】 研修会（勉強会）の実施回数	—	1回	0回	1回	0回
【想定人口効果】		[直接分+0.003人] [経済分+0.001人]	[直接分+0.000人] [経済分+0.000人]	[直接分+0.003人] [経済分+0.001人]	[直接分+0.000人] [経済分+0.000人]
実績及び実績見込み	—	1回			
《成果と見直し》 関係機関と研修会を実施し、研修生に対し市の補助制度の周知等を行うなど、知識や人とのつながりを増やす機会の確保を図った。次年度新たに1名を新規漁業就業者として受入れ予定としている。					

【重点取組項目】新規就農者研修制度の活用

【対象者】 江田島市内で新規就農を希望する者

【内 容】 新たに就農を希望する者に対して、実践研修や経営計画研修等を実施します。また、研修修了者に対して、就農に必要なハウスの整備費用を助成し、担い手の確保に努めます。

	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)
【KPI】 研修修了者数	1人	2人	2人	2人	2人
【想定人口効果】		[直接分+2.47人] [経済分+0.48人]	[直接分+4.94人] [経済分+0.95人]	[直接分+4.94人] [経済分+0.95人]	[直接分+4.94人] [経済分+0.95人]
実績及び実績見込み	1人	1人			
《成果と見直し》 令和4年度は、2名の研修生でスタートしたが、現在の江田島市の農業を取り巻く環境が厳しいことなどから、研修を途中で辞めた方が出て、1名のみ研修を修了した。そのような状況から、研修制度の見直しを行っている。					

【重点取組項目】学校給食における直接契約による地産地消の推進（WS）

【対象者】 農業・漁業者

【内 容】 地元の農業・漁業者が生産した新鮮な農産物と水産物を使って学校給食をつくり、おいしさや魅力を伝えるとともに、農業・漁業者の生産意欲の向上を目指します。

	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)
【KPI】 取扱件数	—	1件	1件	1件	1件
【想定人口効果】		[直接分+0.018人] [経済分+0.003人]	[直接分+0.018人] [経済分+0.003人]	[直接分+0.018人] [経済分+0.003人]	[直接分+0.018人] [経済分+0.003人]
実績及び実績見込み	6件	7件			
《成果と見直し》 今年度については、イチゴ、きゅうり、ズッキーニ、トマト、メロン、きくらげ、さつまいもの7件の取扱品目について実施した。来年度についても、農業者の圃場に行った際などに、積極的に声掛けを行い、契約品目件数の増加に努め、魅力の発信や生産者の意欲向上につなげる。					

【重点取組項目】子どもたちが「漁師のしごと」を知る機会の提供(WS)

【対象者】 市内小学生

【内容】 少年少女水産教室で水産業の説明に併せて、漁師から「漁業の現状」を説明することにより、漁業に興味を持たせ漁業就業へのきっかけづくりを図ります。

	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)
【KPI】 教室の実施回数	1回	1回	1回	1回	1回
実績及び実績見込み	4回	6回			
《成果と見直し》 新規漁業就業者研修を終えた地元漁師へのインタビュー動画を撮影し、水産教室の講義にて放送し、漁業に興味を持つきっかけづくりとした。(※市内全小学校で実施)					

【重点取組項目】農地活用希望者のマッチング(WS)

【対象者】 農地利用希望者

【内容】 農地中間管理機構を通じた土地の貸し借りを推奨し、貸出しを希望する農地所有者と利用希望者のマッチングを行い、就農促進及び耕作放棄地の解消促進を図ります。

	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)
【KPI】 貸付面積	0.5ha	0.5ha	0.5ha	0.5ha	0.5ha
【想定人口効果】	[直接分+1.02人] [経済分+0.20人]	[直接分+1.02人] [経済分+0.20人]	[直接分+1.02人] [経済分+0.20人]	[直接分+1.02人] [経済分+0.20人]	[直接分+1.02人] [経済分+0.20人]
実績及び実績見込み	0.4ha	0.0ha			
《成果と見直し》 農地中間管理機構のHPIによるPRに加え、利用希望者に対して制度の周知及び意向の確認を行った上で、貸出しを希望する農地所有者と利用希望者のマッチングを行ったが、賃借条件が合わず、農地中間管理機構を通じた農地の貸し借りは成立しなかった。引き続き、新規就農者等への優良な農地の斡旋を行っていく。					

プロジェクト2 しごとで稼ぐ。

【重点取組項目】果樹の産地形成と維持存続

【対象者】 果樹農家、小規模兼業農家、定年帰農者、新規担い手

【内容】 地理的特性を鑑み、小規模兼業農家や定年帰農者への果樹栽培を積極的に推進します。重点拡大品目である、いしじ温州、レモン、いちじくや産地化を目指すオリーブ等の複合産地化や6次産業化により、1経営体当たりの所得向上を図ります。

	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)
【KPI】 苗木の助成本数(各品目合計)・講習会の開催(各品目合計)	1,600本 12回以上	1,600本 12回以上	1,600本 12回以上	1,600本 12回以上	1,600本 12回以上
【想定人口効果】	[直接分+1.58人] [経済分+0.30人]	[直接分+1.58人] [経済分+0.30人]	[直接分+1.58人] [経済分+0.30人]	[直接分+1.58人] [経済分+0.30人]	[直接分+1.58人] [経済分+0.30人]
実績及び実績見込み	1,031本 18回	1,311本 19回			
《成果と見直し》 苗木助成本数については、1,311本(いしじ303本、早生みかん47本、レモン234本、ネーブル37本、オリーブ690本)となり、令和3年度よりは増加したが目標値を下回った。理由としては、レモン苗木の国内需要の高まりにより、本数の確保ができなかったことが考えられる。令和5年度以降は、江田島市内で新たに育苗を行うとともに、1年生苗木を早い段階から苗木業者から確保するように努める。引き続き、各協議会に苗木購入助成を行うための補助金を支出するなどして連携を行う。講習会実施回数については、コロナ禍であったが、本年は予定通り概ね実施できた。					

【重点取組項目】6次産業化、高付加価値化の取組への支援

【対象者】 市内の農林水産業の生産者

【内 容】

本市の加工施設や補助金等を活用して6次産業化、高付加価値化の取組を促進し、地域産品のブランド化を図ることにより、生産単価を向上させ、第1次産業の経営の安定及び向上を目指します。

	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)
【KPI】 えたじまブランド認定 品の増加数	1件	1件	1件	1件	1件
【想定人口効果】	[直接分+5.49人] [経済分+1.06人]	[直接分+5.49人] [経済分+1.06人]	[直接分+5.49人] [経済分+1.06人]	[直接分+5.49人] [経済分+1.06人]	[直接分+5.49人] [経済分+1.06人]
実績及び実績見込み	2件	1件			
《成果と見直し》 本市の補助金を活用して開発した新商品が、えたじまブランド第3回認定審査会で認定された。今後も補助制度等の活用を促進し、6次産業化、高付加価値化の取組を支援する。					

【重点取組項目】漁場基盤の整備

【対象者】 漁業者

【内 容】

漁礁や築いそなどの漁場を整備し、そこへ市場単価の高い魚種を放流することにより、つくり育てる漁業を推進し、漁獲量を増加させることで漁業経営の安定を図ります。

	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)
【KPI】 整備箇所・放流魚種	0箇所 2種類	1箇所 2種類	0箇所 2種類	1箇所 2種類	0箇所 2種類
【想定人口効果】	[直接分+0.00人] [経済分+0.00人]	[直接分+0.25人] [経済分+0.05人]	[直接分+0.00人] [経済分+0.00人]	[直接分+0.25人] [経済分+0.05人]	[直接分+0.00人] [経済分+0.00人]
実績及び実績見込み	0箇所 2種類	1箇所 2種類			
《成果と見直し》 令和4年度は、漁場整備を1箇所(能美町)行い、種苗放流をキジハタ3箇所(能美町、沖美町、大柿町)、オニオコゼ2箇所(能美町、大柿町)で行った。引き続き、つくり育てる漁業を推進し、漁業経営の安定を図っていく。					

【重点取組項目】えたじま牡蠣のプロモーション強化(WS)

【対象者】 消費者

【内 容】

他の産地との差別化を図るため、江田島産かきの品質や栄養成分、生食と加熱調理用の違いについて、各種媒体を活用して消費者にPRする。

	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)
【KPI】 実施回数	—	3回	3回	3回	3回
【想定人口効果】		[直接分+0.10人] [経済分+0.02人]	[直接分+0.10人] [経済分+0.02人]	[直接分+0.10人] [経済分+0.02人]	[直接分+0.10人] [経済分+0.02人]
実績及び実績見込み	3回	2回			
《成果と見直し》 マツダスタジアム及びフードフェスティバルにおいて、牡蠣料理の提供を通じ、市外消費者へのPRを行った。また、昨年度、大柿高校と共同で作成したPR動画をSNS等で配信しPRした。参加予定であった広島市(吉島住宅展示場)及び江田島市かき祭りがコロナの影響により中止となったため、目標は達成することはできなかった。来年度以降も積極的なイベントへの参加、SNS等での動画配信を行うなど、引き続きプロモーションを行っていく。					

【重点取組項目】ふるさと納税制度を活用した地場製品の販売促進(WS)

[対象者] 市内外の消費者

[内 容] ふるさと納税の返礼品制度を活用して本市の地域製品の周知を行い、市内特産品の販売促進を図ります。

	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)
【KPI】 ふるさと納税の返礼品 の増加数	1件	1件	1件	1件	1件
[想定人口効果]	[直接分+0.11人] [経済分+0.02人]	[直接分+0.11人] [経済分+0.02人]	[直接分+0.11人] [経済分+0.02人]	[直接分+0.11人] [経済分+0.02人]	[直接分+0.11人] [経済分+0.02人]
実績及び実績見込み	1件	3件			
《成果と見直し》 コーヒー・ローストセレーノ、江田島荘、Hawk Nest Villageについては、市補助金を活用して起業(企業立地)を行い、ふるさと納税の返礼品へ登録された。江田島荘やHawk Nest Villageのような「体験型」の返礼品は、えたじまの魅力を感じてもらえるきっかけになるため、引き続き、周知や販売促進を図っていきたい。					

【重点取組項目】市内事業者と都市圏人材の交流促進(WS)

[対象者] 市内事業者

[内 容] 都市圏人材からアプローチがあった場合、市内事業者との交流機会を設け、情報交換や販路拡大など、ビジネスマッチングのきっかけづくりを行います。

	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)
【KPI】 事業者の来訪件数	5件	10件	10件	10件	10件
[想定人口効果]	[直接分+0.03人] [経済分+0.005人]	[直接分+0.05人] [経済分+0.01人]	[直接分+0.05人] [経済分+0.01人]	[直接分+0.05人] [経済分+0.01人]	[直接分+0.05人] [経済分+0.01人]
実績及び実績見込み	3件	9件			
《成果と見直し》 都市圏人材(バイヤー)の来訪件数が3件、誘致企業と市内事業者のビジネスマッチングが6件あった。目標未達成の理由としては、交流機会の不足が1つの原因と考える。今後は商談会や催事等への事業者の参加を促進し、都市圏人材と接触する機会を増やしていく。また、誘致企業等と事業者の交流会を開催し、ビジネスマッチングのきっかけづくりを行う。					

プロジェクト3 お客を呼び込む。

【重点取組項目】新たな宿泊観光関連施設の整備

[対象者] 市内及び市外宿泊客

[内 容] 新ホテル等整備に係る補助及び駐車場を含む長瀬海岸周辺整備により、民間の宿泊施設の進出を支援し、宿泊客の増大及び観光消費額の向上を図ります。

	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)
【KPI】 ホテル宿泊者数	7,240人	17,230人	19,000人	19,000人	19,000人
[想定人口効果]	[直接分+8.83人] [経済分+1.70人]	[直接分+21.02人] [経済分+4.04人]	[直接分+23.18人] [経済分+4.45人]	[直接分+23.18人] [経済分+4.45人]	[直接分+23.18人] [経済分+4.45人]
実績及び実績見込み	10,350人	17,880人			
《成果と見直し》 令和3年度に引き続き、長瀬海岸周辺の整備及び美化清掃、メディアやパンフレット・冊子等で宿泊施設のPRに積極的に取り組んだ結果、目標を達成することができた。今後、アフターコロナを見越して取組を継続し、更なる宿泊客数及び観光消費額の増加に努めていく。					

【重点取組項目】観光戦略チーム「一歩」による体験型観光メニューの造成(WS)

【対象者】 市民及び関係団体

【内 容】 観光戦略チーム「一歩」の事業により、市民及び関係団体が企画した体験型観光メニューを新規に造成することで、観光客の誘引及び観光消費額の向上を図ります。

	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)
【KPI】 新規体験型観光メニュー数	3件	3件	3件	3件	3件
【想定人口効果】	[直接分+1.78人] [経済分+0.34人]	[直接分+1.78人] [経済分+0.34人]	[直接分+1.78人] [経済分+0.34人]	[直接分+1.78人] [経済分+0.34人]	[直接分+1.78人] [経済分+0.34人]
実績及び実績見込み	3件	8件			
《成果と見直し》 「えたじまものがたり博覧会」により、ピザづくり体験やカトラリーづくり体験など8件の新規体験メニューを造成でき、観光客の誘引及び観光消費額の向上につながった。次年度以降も新たな体験観光メニューを造成すると共に、常時販売できるよう事業者と一緒に進める。					

【重点取組項目】縁のある民泊生徒へのアプローチ(WS)

【対象者】 体験型修学旅行で本市に来訪した生徒

【内 容】 民泊受入家庭にICTを活用したオンラインによる事後交流の研修を実施し、オンラインが整備されている拠点で交流が続けられるような仕組みをつくります。これにより、民泊受入家庭と体験型修学旅行で訪れた生徒との交流を長く続けることができ、当該生徒の来訪の可能性を高めます。

	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)
【KPI】 再来訪人数	—	3人	3人	3人	3人
【想定人口効果】		[直接分+0.014人] [経済分+0.003人]	[直接分+0.014人] [経済分+0.003人]	[直接分+0.014人] [経済分+0.003人]	[直接分+0.014人] [経済分+0.003人]
実績及び実績見込み	—	4人			
《成果と見直し》 令和4年度は、民泊家庭と来訪した生徒4名でインターネットや手紙等でのつながりもあり、再来訪するなどの結果となった。昨年度に引き続き、民泊家庭等に対してICT研修を実施したのであるが、民泊家庭同士でのつながりも生まれた。今後、インターネット接続環境や通信機器を有していない家庭でも、生徒との交流ができるよう拠点整備を進めていく。					

【重点取組項目】市外イベントでの江田島市のPR(WS)

【対象者】 観光客

【内 容】 県内で行われるイベントへ積極的に参加し、江田島市の魅力として体験型観光メニューや食をPRすることで、県内での認知度向上を図り、本市への誘客へつなげます。

	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)
【KPI】 市外イベントへの参加回数	6回	7回	8回	9回	10回
【想定人口効果】	[直接分+0.30人] [経済分+0.06人]	[直接分+0.35人] [経済分+0.07人]	[直接分+0.40人] [経済分+0.08人]	[直接分+0.45人] [経済分+0.09人]	[直接分+0.49人] [経済分+0.10人]
実績及び実績見込み	5回	7回			
《成果と見直し》 新型コロナウイルスの影響も徐々に緩和され、少しずつイベントが実施されるようになり、計画通りの結果となった。引き続き県内イベントへ参加し、本市への誘客へつなげたい。					

【重点取組項目】魅力ある観光情報発信の再構築

[対象者] 観光客

[内 容] 「えたじまものがたり博覧会」を中心とした魅力ある観光情報の発信を行い、市の認知度向上を図ります。

	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)
【KPI】					
「えたじまものがたり博覧会」の情報発信件数	30件	32件	35件	37件	40件
[想定人口効果]	[直接分+1.85人] [経済分+0.36人]	[直接分+1.98人] [経済分+0.38人]	[直接分+2.16人] [経済分+0.42人]	[直接分+2.29人] [経済分+0.44人]	[直接分+2.47人] [経済分+0.48人]
実績及び実績見込み	25件	22件			
《成果と見直し》					
新型コロナウイルスの影響も徐々に緩和されてきたが、課題の整理や運営体制の調整に時間を要したことで事業開始が遅れたため、掲出可能な媒体が少なくなった。次年度以降、計画的に事業を実施し、十分なPR期間が設けられるよう改善を図る。					

【重点取組項目】簡易宿所営業許可等の認可取得サポート

[対象者] 民泊受入家庭

[内 容] 民泊受入家庭を対象に、簡易宿所営業許可や住宅宿泊事業法(いわゆる民泊新法)の許認可取得に向けての事務的なサポートを行います。許認可を得るために衛生面等を整備することにより、民泊受入家庭の質が向上するだけでなく、体験型修学旅行以外においても、一般の観光客の受入が可能となります。その結果、市内の宿泊施設数が増加し、観光客の受け皿が拡充されることにより、観光客の増加を図ります。

	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)
【KPI】					
許認可取得者数	—	2人	2人	3人	3人
[想定人口効果]		[直接分+0.79人] [経済分+0.15人]	[直接分+0.79人] [経済分+0.15人]	[直接分+1.19人] [経済分+0.23人]	[直接分+1.19人] [経済分+0.23人]
実績及び実績見込み	—	2人			
《成果と見直し》					
令和3年度に行った研修後に2件の意欲ある家庭から連絡があり、旅館業法簡易宿舎の営業許可1件、住宅宿泊事業法届出1件の事務サポートを行った。今後は、市内の転入者や空き家改修者に向けたPRを行い、民泊受入家庭の宿泊施設件数の増加に努める。					

プロジェクト4 しごとと人をマッチングする。

【重点取組項目】若年層への市内企業の紹介や就職情報の提供(WS)

[対象者] 10代、20代の求職者

[内 容] 社会福祉協議会へ委託する無料職業紹介所の若年層(10代・20代)の求職登録者数を増やし、求職者へ情報提供を行うことで、仕事と求職者のマッチングにつなげます。

	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)
【KPI】					
若年層の求職登録者数	30件	32件	35件	37件	40件
[想定人口効果]	[直接分+4.50人] [経済分+0.87人]	[直接分+4.80人] [経済分+0.92人]	[直接分+5.25人] [経済分+1.01人]	[直接分+5.55人] [経済分+1.07人]	[直接分+6.00人] [経済分+1.15人]
実績及び実績見込み	19件	20件			
《成果と見直し》					
人口減少やコロナ禍による求職活動の変化により、全体の求職登録者数が減少している一方で、市内の求人数は増加している。特に若年層の求職登録者数を増加させていくためには、職場を知る機会の確保が重要と考えるため、インターンシップ等により市内事業所を知るきっかけづくりを行っていきと共に、無料職業紹介所の周知を行う。					

基本目標Ⅱ 人の流れをつくり、縁を有する人を増やす。

プロジェクト1 知ってもらい、興味を持ってもらう。

【重点取組項目】島暮らしのイメージづくりとプロモーション(WS)

[対象者] 市外在住の移住に興味がある層

[内 容] 島暮らしがイメージできるブランドイメージやキャッチコピー、暮らしの様子などをホームページやSNS、ポスターなどの媒体を活用して発信します。

	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)
【KPI】 HP閲覧数、ポスター 閲覧数	HP1,000件 ポスター150件	HP1,000件 ポスター150件	HP1,000件 ポスター150件	HP1,000件 ポスター150件	HP1,000件 ポスター150件
[想定人口効果]	[直接分+0.18人] [経済分+0.04人]	[直接分+0.18人] [経済分+0.04人]	[直接分+0.18人] [経済分+0.04人]	[直接分+0.18人] [経済分+0.04人]	[直接分+0.18人] [経済分+0.04人]
実績及び実績見込み	46,404件 0件	55,658件 984件			

《成果と見直し》

定住フェアがリアル開催であったため、ポスター4種を掲出した。HP閲覧数(サイト訪問者数)は、定住フェアや移住相談で案内を行い、月平均4,600件を超える閲覧があり、認知度が高まりつつある。令和5年度はサイトの改修を行うことも踏まえ、継続してHP記事の更新や発信をしていく。

【重点取組項目】移住希望者目線の島暮らし情報の発信(WS)

[対象者] 市外在住の移住に興味がある層

[内 容] 教育、医療、買い物、住家、求人等の島での暮らしを検討する際に必要となるであろう情報を一元的に把握できるポータルサイトやパンフレットを作成し、提供します。

	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)
【KPI】 HP閲覧数、パンフ配布 数	HP1,000件 パンフ150冊	HP1,000件 パンフ150冊	HP1,000件 パンフ150冊	HP1,000件 パンフ150冊	HP1,000件 パンフ150冊
[想定人口効果]	[直接分+0.024人] [経済分+0.005人]	[直接分+0.024人] [経済分+0.005人]	[直接分+0.024人] [経済分+0.005人]	[直接分+0.024人] [経済分+0.005人]	[直接分+0.024人] [経済分+0.005人]
実績及び実績見込み	46,404件 3冊	55,658件 300冊			

《成果と見直し》

HP閲覧数は、年間通して月平均4,600件を超える閲覧数があった。パンフ(江田島移住のはじめ方)の配布については、定住フェアの来場者へ配布を行った他、窓口での移住相談者へ配布した。令和5年度もHP記事の更新を行い、引き続き発信していく。

【重点取組項目】定住フェアでのPR

[対象者] 首都圏等の大都市圏に在住する移住に興味がある層

[内 容] 教育、医療、買い物、住家等の島暮らしに必要な情報を定住フェアに参加し、直接、説明します。

	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)
【KPI】 定住フェアの相談対応 数	2回×12人	2回×12人	2回×12人	2回×12人	2回×12人
[想定人口効果]	[直接分+0.10人] [経済分+0.02人]	[直接分+0.10人] [経済分+0.02人]	[直接分+0.10人] [経済分+0.02人]	[直接分+0.10人] [経済分+0.02人]	[直接分+0.10人] [経済分+0.02人]
実績及び実績見込み	2回 1人	4回 16人			

《成果と見直し》

令和3年度の定住フェアではオンラインのみの開催となり、低調な相談対応数となったが、令和4年度はリアル開催となり、4回参加した。引き続き、定住フェアで来場者へのPRと相談対応を行っていく。

プロジェクト2 来てもらう、滞在してもらう。

【重点取組項目】移住相談への対応

【対象者】本市に訪れた移住希望者

【内容】市内居住を検討してもらえるよう、島の暮らしの環境や空き家バンク登録物件等を案内し、説明します。

	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)
【KPI】 相談対応数	200件	200件	200件	200件	200件
【想定人口効果】	[直接分+3.00人] [経済分+0.58人]	[直接分+3.00人] [経済分+0.58人]	[直接分+3.00人] [経済分+0.58人]	[直接分+3.00人] [経済分+0.58人]	[直接分+3.00人] [経済分+0.58人]
実績及び実績見込み	139件	237件			
《成果と見直し》					
<p>サイト開設により、移住相談窓口はフウドと掲載しているため、市への直接相談は少なくなり、ひろしま暮らしサポートセンターからの紹介と直接市窓口に来庁された方となっている。令和4年度のフウド対応では、新型コロナウイルス感染症の影響による閉館がなく、通年で移住相談を行えたことが目標達成に繋がった。また、VR内覧により、移住に向けた次のステップの相談といった質の高い相談ができています。今後は、サイト閲覧者のターゲットを絞り、PRすることにより相談対応数の増加を目指す。</p>					

【重点取組項目】移住視察に係る交通費補助制度の運営

【対象者】本市に訪れた移住希望者

【内容】移住を目的に来訪し、滞在及び視察活動をした人に対して交通費の補助を行います。(県事業・単市事業)

	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)
【KPI】 移住視察に係る交通費補助制度の利用件数(県・市)	15件	15件	15件	15件	15件
【想定人口効果】	[直接分+1.83人] [経済分+0.35人]	[直接分+1.83人] [経済分+0.35人]	[直接分+1.83人] [経済分+0.35人]	[直接分+1.83人] [経済分+0.35人]	[直接分+1.83人] [経済分+0.35人]
実績及び実績見込み	3件	11件			
《成果と見直し》					
<p>令和4年度は定住フェアがリアル開催されたこともあり、多くの移住希望者に本市をPRでき、片道交通費支援(県)及び定住促進交通費補助(市)の両補助制度を活用して、次のステップでもある来訪に結びつけている。移住希望者との縁を繋ぐため、さらに来訪時に市の魅力を肌で体感してもらえるよう制度を周知していく。</p>					

【重点取組項目】リモートワーカー等の多様な人材の誘引(WS)

【対象者】首都圏その他の市外に居住するリモートワーカーやクリエイター等

【内容】江田島市を拠点として検討してもらえるよう、定住・企業誘致施策で連携し、フウド等でのリモートワークや創作活動などの体験を、ツアー開催や個別の受入れにより提供します。

	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)
【KPI】 体験受入社(者)数	16社(者)	16社(者)	16社(者)	16社(者)	16社(者)
【想定人口効果】	[直接分+0.04人] [経済分+0.01人]	[直接分+0.04人] [経済分+0.01人]	[直接分+0.04人] [経済分+0.01人]	[直接分+0.04人] [経済分+0.01人]	[直接分+0.04人] [経済分+0.01人]
実績及び実績見込み	11社(者)	21社(者)			
《成果と見直し》					
<p>令和4年度はコロナ禍による休館期間がなく通常どおり開館できたため、受入れ体制を整えることができた。令和5年度も設定しているKPIを達成できるよう、引き続き受け入れを行っていく。</p>					

プロジェクト3 江田島市を好きになってもらう。

【重点取組項目】フウドによる移住希望者等との縁づくり(WS)

【対象者】 江田島市に移住検討のため来訪した移住希望者

【内 容】 移住者を含む市民との接点を持つ機会を提供し、縁を深めます。また、フウドで移住相談を受け付け、市内や空き家への案内を行います。

	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)
【KPI】 フウドでの移住相談対応件数	80件	80件	80件	80件	80件
実績及び実績見込み	139件	192件			

《成果と見直し》

令和3年度同様に目標値の達成と移住希望者との接点を持つことができた。リアル訪問での縁を深めることと、オンラインでの移住相談と併せ、継続して対応していく。

【重点取組項目】首都圏居住者との関係性の構築・維持

【対象者】 首都圏に居住する江田島市と縁を有する人

【内 容】 東京江田島ファン倶楽部やひろしま里山ウェブ拡大プロジェクトなど、首都圏在住者の活動を通じて、江田島市の情報提供や交流の場を確保します。

	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)
【KPI】 東京江田島ファン倶楽部稼働会員数	250人	255人	260人	265人	270人
【想定人口効果】	[直接分+0.12人] [経済分+0.02人]	[直接分+0.13人] [経済分+0.02人]	[直接分+0.13人] [経済分+0.03人]	[直接分+0.13人] [経済分+0.03人]	[直接分+0.13人] [経済分+0.03人]
実績及び実績見込み	279人	352人			

《成果と見直し》

会報誌「ETTO」の作成や江田島ファンネットの運営、里山ウェブ拡大プロジェクトなどの取組により、令和4年度は、新規会員数が70人を超える見込みとなった。令和5年度も現会員との縁を紡ぎつつ、引き続き積極的な会員勧誘に努める。

【重点取組項目】市外居住者へのアプローチ

【対象者】 江田島市に縁のある人(主に近隣自治体を想定)

【内 容】 縁のある人が自らエントリーする組織「江田島市応援隊・Forza!(フォルツァ)エタジマ」を結成し、加入登録者に対する情報提供や来訪の誘引等を行います。

	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)
【KPI】 登録者数	20人	30人	40人	50人	60人
【想定人口効果】	[直接分+0.010人] [経済分+0.002人]	[直接分+0.015人] [経済分+0.003人]	[直接分+0.020人] [経済分+0.004人]	[直接分+0.025人] [経済分+0.005人]	[直接分+0.030人] [経済分+0.006人]
実績及び実績見込み	79人	85人			

《成果と見直し》

令和4年度は、江田島市への来訪のきっかけづくりとして、主に市内イベントの告知を実施したが、登録者数の増加には伸び悩んでいる。LINEのお友だち登録数は増えているが、本登録に結び付けるインセンティブが不十分であることから、令和5年度は新たなファン獲得のために、各種イベントを活用した魅力発信や交流機会を設けることで、本市への来訪者数の増加に努める。

【重点取組項目】体験型修学旅行の推進

【対象者】 都市圏在住の修学旅行生等

【内容】 体験型修学旅行を一般家庭で受け入れ、交流を深めることにより、地域の活性化及び将来の定住人口の増加を図ります。

	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)
【KPI】 受入人数	3,300人	3,500人	3,700人	3,900人	4,000人
【想定人口効果】	[直接分+15.22人] [経済分+2.92人]	[直接分+16.14人] [経済分+3.10人]	[直接分+17.06人] [経済分+3.28人]	[直接分+17.98人] [経済分+3.46人]	[直接分+18.44人] [経済分+3.54人]
実績及び実績見込み	219人	324人			
《成果と見直し》 令和4年度も昨年度に引き続いて、新型コロナウイルスの影響により民泊受入を中止したため、受入人数が落ち込むこととなった。民泊受入再開に向け、受入家庭へのフォローアップ及び新規家庭の勧誘に取り組むことにより、質の維持を図るとともに、SDGs体験プログラムの造成を進め、魅力ある民泊体験となるようにしていく。					

【重点取組項目】ふるさとを知る機会の確保

【対象者】 市内在住者

【内容】 本市の自然や文化、歴史について、学びの館、灘尾記念文庫等で企画展を開催するとともに、PR素材を整備することにより、青少年交流の家や旧海軍兵学校などが存在するふるさとを知り、愛着を高める機会を創出します。

	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)
【KPI】 企画展を含む来場者数	850人	900人	900人	900人	900人
【想定人口効果】	[直接分+0.04人] [経済分+0.01人]	[直接分+0.05人] [経済分+0.01人]	[直接分+0.05人] [経済分+0.01人]	[直接分+0.05人] [経済分+0.01人]	[直接分+0.05人] [経済分+0.01人]
実績及び実績見込み	229人	886人			
《成果と見直し》 令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大に伴う施設休館により、学びの館・灘尾記念文庫の両館で予定していた企画展や講座を実施することが出来なかったが、令和4年度はコロナの状況を配慮しながら開催し、概ね目標を達成することができた。今後もコロナ禍等を考慮しながら開催していきたい。					

プロジェクト4 暮らしをもう。

【重点取組項目】空き家バンクの運営・拡充(WS)

【対象者】 空き家の購入・賃貸希望者

【内容】 土地のみ物件や空き家活用事例の掲載などの拡充を図りつつ、「空き家バンク」サイトで空き家情報を提供し、需要と供給のマッチングを図ります。

	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)
【KPI】 空き家成約件数、空き家バンク利用登録者数(累計)	15件 (-)	15件 (200人)	15件 (230人)	15件 (260人)	15件 (290人)
【想定人口効果】	[直接分+1.80人] [経済分+0.35人]	[直接分+1.80人] [経済分+0.35人]	[直接分+1.80人] [経済分+0.35人]	[直接分+1.80人] [経済分+0.35人]	[直接分+1.80人] [経済分+0.35人]
実績及び実績見込み	39件 (170人)	35件 (330人)			
【KPI追加理由(R3)】 空き家バンク利用希望者の利用登録制度を開始したため、参考指標として、登録者数を追加する。					
《成果と見直し》 令和3年度に続き、より広い範囲の空き家所有者に向けた空き家バンク登録意向調査を実施した。その結果、空き家バンク制度の認知度も、成約数の増加とともに高まっている。今後も掘り起こしを行い、物件掲載件数を維持していく。					

【重点取組項目】まちづくり人材の取組促進(WS)

【対象者】 まちづくりに取り組む市民・団体

【内容】 市民・団体が自ら行うまちづくり活動に対して地域提案型活動支援補助金による支援を行うとともに、その活動内容をPRすることにより、地域の活力創出及びまちづくりの実践に関する機運醸成を図ります。

	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)
【KPI】 補助件数	8件	8件	8件	8件	8件
【想定人口効果】	[直接分+0.04人] [経済分+0.01人]	[直接分+0.04人] [経済分+0.01人]	[直接分+0.04人] [経済分+0.01人]	[直接分+0.04人] [経済分+0.01人]	[直接分+0.04人] [経済分+0.01人]
実績及び実績見込み	5件	6件			

《成果と見直し》

市民自らによる仕事の創出、子育て、空き家活用などの地域課題を解決する取組について、8件の応募があり、そのうち6件を採択した。実践者自身が発信する親しみやすく魅力あるコンテンツは、これまで関心の無かった市民に対しても、まちづくりや地域の活性化の魅力について共感をもたらしている。今後は、採択につながる新しい取組の提案が活発になるよう、広報等を活用し、地域活動の気運を高めていく。

【重点取組項目】まちづくり人材のつながりづくり(WS)

【対象者】 まちづくりに取り組む市民・団体

【内容】 まちづくりの実践に関する機運醸成及びまちづくり人材の横のつながりづくりを図るため、まちづくりの実践者がゲストスピーカーとなり、自らの取組を発表する場を設けます。

	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)
【KPI】 参加者数	40人	45人	50人	55人	60人
【想定人口効果】	[直接分+0.002人] [経済分+0.000人]	[直接分+0.002人] [経済分+0.000人]	[直接分+0.003人] [経済分+0.001人]	[直接分+0.003人] [経済分+0.001人]	[直接分+0.003人] [経済分+0.001人]
実績及び実績見込み	0人	45人			

《成果と見直し》

多様な担い手が、「まちづくり」を共通の基盤として、横断的なつながりの形成に寄与できた。組織にこだわらない柔軟で多様な関係の中で、それぞれの主体性や専門性を生かし、楽しみながら活動をする様子は、「自分もやってみよう」という意欲が、活動に参加するきっかけになり、新しい人材の発掘や、人のつながりが生まれていくことで、関係人口(上記参加者数)の増加が見込まれる。

【重点取組項目】移住者の定着サポート

【対象者】 移住者及び移住者との交流を望む市民

【内容】 移住者交流会の開催やフウドの行事等を通じた移住者と市民の交流により、人のつながりによる暮らしの豊かさづくりや本市への定着促進を図ります。

	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)
【KPI】 交流者数	交流会30人, フウド延べ 2,500人	交流会30人, フウド延べ 2,500人	交流会30人, フウド延べ 2,500人	交流会30人, フウド延べ 2,500人	交流会30人, フウド延べ 2,500人
【想定人口効果】	[直接分+1.01人] [経済分+0.19人]	[直接分+1.01人] [経済分+0.19人]	[直接分+1.01人] [経済分+0.19人]	[直接分+1.01人] [経済分+0.19人]	[直接分+1.01人] [経済分+0.19人]
実績及び実績見込み	38人 1,635人	60人 2,616人			

《成果と見直し》

令和4年度は通年で開館できたこともあり、フウドの交流者数の増加に繋がった。また、昨年度に続き移住者交流会を5月に1回開催した。移住者の増加も重なり交流の場は必要性があることから、移住者交流会を周知し、移住者の定着の促進を遂行していく。

【重点取組項目】定住促進補助金の運営

【対象者】 移住者

【内 容】 移住後の住居の確保を支援するため、居住を目的として住家を新築し、又は購入した人に対する補助及び若年層の移住者に対する家賃補助を行います。

	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)
【KPI】 補助件数	15件	15件	15件	15件	15件
【想定人口効果】	[直接分+0.38人] [経済分+0.07人]	[直接分+0.38人] [経済分+0.07人]	[直接分+0.38人] [経済分+0.07人]	[直接分+0.38人] [経済分+0.07人]	[直接分+0.38人] [経済分+0.07人]
実績及び実績見込み	22件	29件			
《成果と見直し》 令和4年度は、定住促進補助金(新築・購入)5件、子育て世帯家賃補助4件、空き家購入補助(移住者のみ)13件となり、KPIを達成することができた。今後も制度の周知を進めることで、補助件数の増加を目指す。					

【重点取組項目】次世代型公共交通システムの研究・実施

【対象者】 観光客を含む公共交通利用者

【内 容】 Maasや自動運転、AI配車システムなど、近い将来実用化されることが見込まれる次世代型公共交通システムの動向を研究し、市内への展開が可能な案件が生じた際は公共交通事業者と調整のうえ導入します。

	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)
【KPI】 次世代型公共交通の 利用者数の割合	-	-	-	-	-
実績及び実績見込み					
《成果と見直し》 令和4年10月に富士通Japan(株)とパートナーシップ協定を締結し、その一環として公共交通システムについての意見交換を行っており、導入可能な案件があれば積極的に取り組んでいく。なお、路線バスに導入しているPASPYについては、令和7年3月末で廃止となる。そのため、PASPYに替わる新乗車システム(QRコードや新ICカード等)については、各種システムのメリット・デメリットを見極めつつ、対応していく。					

基本目標Ⅲ 子どもが生まれ、育つ環境をつくる。

プロジェクト1 子どもが郷土で育まれる。

【重点取組項目】地域と連携した保育の実施(WS)

【対象者】 園児

【内 容】 市内保育施設において、地域の食や歴史、遊びなどに長けた地元の講師を招き、様々な体験型の保育企画を実施し、子どもが島の歴史や風土に親しむ機会を創出します。

	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)
【KPI】 保育企画実施回数	25回	27回	31回	36回	36回
【想定人口効果】	[直接分+1.00人] [経済分+0.19人]	[直接分+1.08人] [経済分+0.21人]	[直接分+1.24人] [経済分+0.24人]	[直接分+1.44人] [経済分+0.28人]	[直接分+1.44人] [経済分+0.28人]
実績及び実績見込み	21回	45回			
《成果と見直し》 各認定こども園において、地元の方を招いて特色ある保育事業を実施した。今年度は、新型コロナウイルス感染症予防に努めつつ地元の講師を招き、海の生物との触れ合い、新たにマリンスポーツといった実際に体験できる保育企画を実施した。今後も島の魅力を伝えられる保育企画を実施し、地域に根差した事業を展開していく。					

【重点取組項目】島の自然などを活用した特色ある保育の展開(WS)

【対象者】 園児

【内 容】 英語教育のほか、認定こども園で展開されている特色ある保育・幼児教育を全園で展開することにより、島だからできる保育機会を提供します。

	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)
【KPI】 保育企画実施回数	20回	22回	26回	31回	31回
実績及び実績見込み	20回	22回			
《成果と見直し》 今後も、各園の取組内容を見直しながら継続的に実施することで、特色ある保育・幼児教育の充実を図る。					

【重点取組項目】祖父・祖母世帯の子育て参画の推進(WS)

【対象者】 幼児がいる家庭の祖父母

【内 容】 幼児がいる家庭の祖父母に対し、現在の育児事情を知ってもらいことで、孫育てのサポートを行います。また、地域での子育て支援につなげていくことで、子育てしやすいまちづくりを構築します。

	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)
【KPI】 孫育て検定の参加人数	—	30人	35人	35人	35人
実績及び実績見込み	41人	22人			
《成果と見直し》 令和3年度に続き、ファミリーサポートセンター事業の交流会で生協ひろしまと連携し、寸劇による孫育てセミナーを開催した。延べ22人が参加し、昔と今の育児方法の違いについて、寸劇、グループワークの流れで情報共有し、子育て参画の推進を図った。ファミリーサポートセンターの会員や主任児童委員などの特定の者の参加となったことから、開催日程を見直すとともに、子育てに関心のある人に幅広く参加を促し、地域での子育て支援の担い手となるよう、意識を醸成していく。					

プロジェクト2 郷土でしっかりと学ぶ。

【重点取組項目】総合的な学習の時間等における地域と連携した教育の実施(WS)

【対象者】 児童生徒

【内 容】 市内小中学校において、地域の方をゲストティーチャーとして招聘し、児童生徒がふるさとのよさを実感できるような教育活動を推進します。また、本市の特産品であるオーリーブ、牡蠣、柑橘類等の地域資源を活用した教育活動を推進します。さらに、市教委主催の初任者研修等において、教員が地域のよさに触れる機会を設定し、地域への理解を深めます。

	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)
【KPI】 地域のゲストティーチャー招聘回数	市内小中学校 合計年間 60回以上	市内小中学校 合計年間 60回以上	市内小中学校 合計年間 60回以上	市内小中学校 合計年間 60回以上	市内小中学校 合計年間 60回以上
【想定人口効果】	[直接分+0.30人] [経済分+0.06人]	[直接分+0.30人] [経済分+0.06人]	[直接分+0.30人] [経済分+0.06人]	[直接分+0.30人] [経済分+0.06人]	[直接分+0.30人] [経済分+0.06人]
実績及び実績見込み	143回	128回			
《成果と見直し》 各学校において社会に開かれた教育課程の編成に努め、地域と連携した教育を実施したことにより、目標を達成することができた。					

【重点取組項目】学校と保護者等のコミュニケーションを図る場づくり(WS)

【対象者】 教員，児童生徒の保護者

【内 容】 各校において，PTA活動，懇談会，保護者アンケート等を実施し，学校と保護者等が相互に理解できるような場を定期的に設定しています。今後も，教員と保護者の信頼関係が構築できるよう，各校の実態に合わせた取組を継続します。

	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)
【KPI】 懇談会の実施回数	各校年間 3回以上	各校年間 3回以上	各校年間 3回以上	各校年間 3回以上	各校年間 3回以上
実績及び実績見込み	各校年間 平均2.2回	各校年間 平均3.7回			
《成果と見直し》 令和4年度は，コロナ禍における懇談会の開催制限も特に行わなかったこともあり，目標達成につながった。今後も開催方法やその内容を工夫するなどして，教員と保護者の信頼関係の構築に努めるようにする。					

【重点取組項目】児童生徒の自己肯定感を高める体験活動の充実(WS)

【対象者】 児童生徒

【内 容】 地域清掃活動(アダプト活動)や「山・海・島」体験活動(小学校)，職場体験(中学校)など，児童生徒の発達段階に合わせて様々な体験活動を実施し，自己肯定感を高める体験活動を実施します。

	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)
【KPI】 体験活動の実施回数	各校年間 3回以上	各校年間 3回以上	各校年間 3回以上	各校年間 3回以上	各校年間 3回以上
【想定人口効果】	[直接分+0.15人] [経済分+0.03人]	[直接分+0.15人] [経済分+0.03人]	[直接分+0.15人] [経済分+0.03人]	[直接分+0.15人] [経済分+0.03人]	[直接分+0.15人] [経済分+0.03人]
実績及び実績見込み	各校年間 平均5.4回	各校年間 平均6.9回			
《成果と見直し》 平均回数は目標を達成しているが，市内10校中2校は目標未達成に終わった。他の活動とのバランスを含め，教育課程の見直しを行い，自己肯定感を高める体験活動を推進していく。					

【重点取組項目】個別最適な学びの推進による教育の充実

【対象者】 児童生徒

【内 容】 各校において，児童生徒の実態に応じた個別最適な学びを推進していきます。特に，三高小学校においては，個別最適な学びの実現を目指すモデル校として，「イェナプラン教育」を参考とした研究を推進する上で，「地域コーディネーター」を配置します。今後は，その研究成果を踏まえ，各校の実態に合わせた個別最適な学びを充実させます。
また，タブレット等を活用したICT教育を推進します。

	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)
【KPI】 タブレットを使用した授業の実施回数	各校週1回以上	各校週1回以上	各校週1回以上	各校週1回以上	各校週1回以上
【想定人口効果】	[直接分+2.63人] [経済分+0.50人]	[直接分+2.63人] [経済分+0.50人]	[直接分+2.63人] [経済分+0.50人]	[直接分+2.63人] [経済分+0.50人]	[直接分+2.63人] [経済分+0.50人]
実績及び実績見込み	各校週2回以上	各校週2回以上			
《成果と見直し》 学校によっては，週5日以上使用する学校もあり，ICT教育の推進が図られている。今後も，更なる環境整備やICT教育に関する研修の充実を図り，ICT機器を当たり前の文房具として活用できるようにする。					

【重点取組項目】里海教育の推進

【対象者】 児童生徒

【内 容】

「里海」を教育資源と捉えた、本市ならではの「特色ある教育」として推進します。理科・生活科における地域素材の教材化、総合的な学習の時間における各校・各学年に応じた地域学習や「課題発見・解決学習」の推進など、自然体験活動や探究活動の充実を図ることで、ふるさとの自然に親しみ、知的好奇心や探究心を育てながら、生命を尊び、自然を大切に、郷土を愛する豊かな心を育成します。

	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)
【KPI】 里海を教育資源とした 体験活動・探求活動の 実施回数	市内年間 30回以上	市内年間 30回以上	市内年間 30回以上	市内年間 30回以上	市内年間 30回以上
【想定人口効果】	[直接分+0.23人] [経済分+0.04人]	[直接分+0.23人] [経済分+0.04人]	[直接分+0.23人] [経済分+0.04人]	[直接分+0.23人] [経済分+0.04人]	[直接分+0.23人] [経済分+0.04人]
実績及び実績見込み	33回	33回			
《成果と見直し》 地域素材や地域人材を活用して、里海教育を推進することができた。今後は、その内容を更に充実させるとともに、探求心を育てたり、関心・意欲を高めるように努める。					

【重点取組項目】ゲストティーチャー等を活用したキャリア教育の推進 (WS)

【対象者】 児童生徒

【内 容】

キャリア教育を推進する中で、必要に応じて出前授業等を実施し、社会で活躍されている方々に直接触れる機会を設けています。今後も、各校の実態に応じて企業等のゲストティーチャーを招聘するなど、児童生徒のキャリア発達を推進します。

	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)
【KPI】 企業等のゲストティー チャーの招聘回数	市内小中学校 合計年間 10回以上	市内小中学校 合計年間 10回以上	市内小中学校 合計年間 10回以上	市内小中学校 合計年間 10回以上	市内小中学校 合計年間 10回以上
【想定人口効果】	[直接分+0.04人] [経済分+0.01人]	[直接分+0.04人] [経済分+0.01人]	[直接分+0.04人] [経済分+0.01人]	[直接分+0.04人] [経済分+0.01人]	[直接分+0.04人] [経済分+0.01人]
実績及び実績見込み	21回	63回			
《成果と見直し》 キャリア教育の指定中学校区を中心に、各教科等の学習にキャリア教育の視点を取り入れることで目標達成につながった。今後は、指定中学校区の取組を市内全体に普及させるなどして、更なる充実を図る。					

プロジェクト3 子育てしやすい環境をつくる。

【重点取組項目】子育て情報の一元的な発信 (WS)

【対象者】 子育て家庭

【内 容】

ホームページや情報誌の策定、メール配信の活用により、必要な時に必要な情報が得られるよう子育て家庭に向けての情報発信を行います。

	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)
【KPI】 アプリ登録者数	500人	550人	560人	570人	580人
【想定人口効果】	[直接分+0.63人] [経済分+0.12人]	[直接分+0.69人] [経済分+0.12]	[直接分+0.70人] [経済分+0.13人]	[直接分+0.71人] [経済分+0.14人]	[直接分+0.73人] [経済分+0.14人]
実績及び実績見込み	716人	830人			
《成果と見直し》 子育て情報の発信ツールとして、「母子モ」のアプリを活用した。子育て世代に向けて、江田島市の情報や子育て情報を提供するとともに、ひろばや子育て支援室等への来所を促す。比較的登録の少ない父親や祖父母等も登録してもらい、情報共有することで、地域全体での子育てを目指す。					

【重点取組項目】保護者による子育て仲間(グループ)づくりの促進(WS)

【対象者】 子育て家庭

【内容】 子育て世代包括支援センター内で実施する「にこ♡にこひろば」を周知するとともに、地域に出向いて出前講座を行うなど、参加しやすい環境を整備します。
イベントへの参加や「にこ♡にこひろば」の利用を通して、子育て仲間づくりを促進します。

	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)
【KPI】 イベント実施回数	68回	70回	72回	72回	72回
【想定人口効果】	[直接分+0.34人] [経済分+0.07人]	[直接分+0.35人] [経済分+0.07人]	[直接分+0.36人] [経済分+0.07人]	[直接分+0.36人] [経済分+0.07人]	[直接分+0.36人] [経済分+0.07人]
実績及び実績見込み	26回	40回			
《成果と見直し》 令和3年度に比べて実施回数は増加したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため予定していたイベントを実施できず、目標値には達しなかった。引き続き、計画的なイベントの開催と内容の充実を図るとともに、来所できない親子に対しては出前講座を活用し、地域に出向いてひろばを実施することで、子育ての仲間づくりの場の提供に努めていく。					

【重点取組項目】妊産婦へのケアの実施(WS)

【対象者】 妊婦、産婦

【内容】 産前・産後ママのサロンやママ♡パパスクールを実施することにより、妊娠期から子育て家庭の交流を促進し、妊婦や産婦の支援を行います。
また、妊産婦健康診査等の費用及び妊婦健診受診時の交通費を助成し、子育て家庭の経済的負担を軽減します。

	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)
【KPI】 サロン及びスクールの事業実施回数	15回	15回	15回	15回	15回
【想定人口効果】	[直接分+0.90人] [経済分+0.17人]	[直接分+0.90人] [経済分+0.17人]	[直接分+0.90人] [経済分+0.17人]	[直接分+0.90人] [経済分+0.17人]	[直接分+0.90人] [経済分+0.17人]
実績及び実績見込み	9回	10回			
《成果と見直し》 コロナ禍で妊娠期から参加できる教室が少ないということもあり、人数を制限するなど工夫しながら教室を開催した。今後も、内容の充実を図り教室を開催することで、妊産婦の支援の充実に努める。					

【重点取組項目】ファミリーサポートセンターの運営(WS)

【対象者】 子どもを預けたい家庭、子どもを預かってよい家庭

【内容】 ちょっとしたときに子どもを預けたいなという会員と預かってよいという会員のマッチングを図り、子育ての負担感を軽減します。
また、会員同士の交流会を実施することで、子育て世代の仲間づくりを推進します。

	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)
【KPI】 会員数	24人	24人	24人	24人	24人
【想定人口効果】	[直接分+0.30人] [経済分+0.06人]	[直接分+0.30人] [経済分+0.06人]	[直接分+0.30人] [経済分+0.06人]	[直接分+0.30人] [経済分+0.06人]	[直接分+0.30人] [経済分+0.06人]
実績及び実績見込み	35人	42人			
《成果と見直し》 有償ボランティアによる子育て支援をすることで、地域で子育てをする意識の醸成を図る。各種イベントや会議の場などで積極的に制度の周知を図り、会員登録の増加に努めた。受け皿となるサポート会員を継続的に確保することに課題があり、引き続き、人材の掘り起こしに向けた周知を行う。					

【重点取組項目】子どもが自由にのびのび遊びたくなる場所(公園・広場)の確保(WS)

【対象者】 子ども、保護者

【内容】 公園のイベント開催数(貸出数)を増加することにより、公園に集う機会を増やします。特に、子ども向けのイベントの重点的な利用を促進することで、地域の公園を子どもと保護者にとって身近で親しみやすい魅力的な場とします。

	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)
【KPI】 貸出数	2回	3回	3回	4回	5回
【想定人口効果】	[直接分+0.27人] [経済分+0.05人]	[直接分+0.27人] [経済分+0.05人]	[直接分+0.27人] [経済分+0.05人]	[直接分+0.27人] [経済分+0.05人]	[直接分+0.27人] [経済分+0.05人]
実績及び実績見込み	0回	2回			
《成果と見直し》					
公園の貸出し等の情報をHPに掲載していたが、新型コロナウイルスの影響により、人が集うようなイベント実施が自粛されている。今後も子供向けイベントのみならず、コロナの状況を踏まえながら公園の利用促進に努めたい。					

【重点取組項目】通学定期補助制度の運営

【対象者】 公共交通を利用して市内・市外へ通学する児童生徒

【内容】 市内を発着点とする通学定期券の購入補助を行い、子育て世代の費用負担を軽減することにより、転出抑制を図り、定住促進につなげます。

	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)
【KPI】 制度利用者数	530人	525人	520人	515人	510人
【想定人口効果】	[直接分+2.63人] [経済分+0.51人]	[直接分+2.63人] [経済分+0.50人]	[直接分+2.60人] [経済分+0.50人]	[直接分+2.58人] [経済分+0.50人]	[直接分+2.55人] [経済分+0.49人]
実績及び実績見込み	510人	511人			
《成果と見直し》					
事業は計画どおり進捗している。新型コロナウイルス感染症による移動制限が緩和されたため、利用者数は回復する見込みであり、転出抑制につながった。					

基本目標Ⅳ 元気に暮らし続けられるまちをつくる。

プロジェクト1 元気なからだを保つ。

【重点取組項目】健診受診勧奨サポーターの養成(WS)

【対象者】 市民

【内容】 市民への受診勧奨(声掛けや集団健診の申込みの取りまとめ等)を行う健診サポーターを養成し、地域で集団健診の受診を促す機運を醸成することにより、健診受診率を向上し、疾病の早期発見や重症化を抑制します。初めは、食生活改善推進員、母子保健推進員等の中から養成し、その後は、各地域に広がっていきます。

	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)
【KPI】 健診サポーター養成人数	—	20人	25人	30人	35人
【想定人口効果】		[直接分+2.00人] [経済分+0.38人]	[直接分+2.50人] [経済分+0.48人]	[直接分+3.00人] [経済分+0.58人]	[直接分+3.50人] [経済分+0.67人]
実績及び実績見込み	—	68人			
《成果と見直し》					
令和4年度は、食生活改善推進員を対象に健診受診勧奨サポーター養成を実施した。地区活動で健診の受診勧奨を行い、申込みの取りまとめを行った。令和5年度は、引き続き地区活動で受診勧奨を行い、新たに母子保健推進員を対象に、乳幼児健診や訪問時に女性のがん健診を対象とした健診受診勧奨サポーターを養成する。					

【重点取組項目】AIを活用した健診受診勧奨 (WS)

【対象者】 市民(国保特定健診:40歳～74歳)

【内容】 AIやソーシャルマーケティングの手法に基づく解析により、受診勧奨を行う対象者を選定し、必要な人に効率的に受診勧奨が届く仕組みを推進します。

	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)
【KPI】 国保特定健診受診率	52.0%	56.0%	60.0%	62.0%	64.0%
【想定人口効果】	[直接分+5.36人] [経済分+1.03人]	[直接分+5.77人] [経済分+1.11人]	[直接分+6.18人] [経済分+1.19人]	[直接分+6.39人] [経済分+1.23人]	[直接分+6.59人] [経済分+1.27人]
実績及び実績見込み	32.4%	25.6%(R4.12月)			
《成果と見直し》					
AIやソーシャルマーケティングの手法に基づく解析により、5月・9月・1月に受診勧奨を行った。新型コロナウイルス感染症の影響により、健診を控える方もおり、国保特定健診受診率は減少している。一度健診を受診した方は継続して健診を受診する傾向があるため、令和5年度は、対象の若い世代となる40代に個別に勧奨を実施する。					

【重点取組項目】介護予防に関する意識啓発コンテンツの作成 (WS)

【対象者】 市民

【内容】 現在、市内で浸透している「いきいき百歳体操」を、高齢者だけでなく幅広い年代に関心を持ってもらうため、オリジナルの出演者による、江田島市独自の百歳体操DVDを作成し、元気なうちからの健康づくりや介護予防に関する意識啓発を行うとともに、取組の参加を促進します。

	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)
【KPI】 配付枚数	—	—	100枚	100枚	100枚
【想定人口効果】			[直接分+4.00人] [経済分+0.77人]	[直接分+4.00人] [経済分+0.77人]	[直接分+4.00人] [経済分+0.77人]
実績及び実績見込み	—	—			
《成果と見直し》					
令和4年度は、広島大学の協力を得ながら、百歳体操にはない体操要素を取り入れて、オリジナル体操の作成に取り組んだ。以後、映像コンテンツを活用した普及啓発を行い、介護予防及び通いの場の活動の充実化等を図っていく。					

【重点取組項目】がん検診・生活習慣病健診等の推進

【対象者】 市民(胃・肺・大腸・乳:40歳～69歳・子宮頸:20歳～69歳)

【内容】 国保特定健診、がん検診、生活習慣病健診の受診しやすい体制を整備し、疾病の早期発見・早期治療により、重症化を抑制します。

※ 集団健診(江田島市内各地域の体育館、交流プラザ等で実施)

※ 個別健診(広島市・呉市の医療機関で受診可能)

※ 集団健診を受診した際に、次年度の健診の予約ができる体制を整備します。

	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)
【KPI】 子宮頸がん検診受診率・乳がん検診受診率	子宮頸16.0% 乳10.5%	子宮頸16.3% 乳10.8%	子宮頸16.5% 乳11.2%	子宮頸16.7% 乳12.5%	子宮頸17.0% 乳18.2%
【想定人口効果】	[直接分+0.12人] [経済分+0.02人]	[直接分+0.13人] [経済分+0.03人]	[直接分+0.13人] [経済分+0.03人]	[直接分+0.14人] [経済分+0.03人]	[直接分+0.18人] [経済分+0.04人]
実績及び実績見込み	子宮8.5%(暫定) 乳6.9%(暫定)	子宮9.8%(暫定) 乳7.8%(暫定)			
《成果と見直し》					
女性のためのがん検診を受診できる医療機関について、令和4年度は2機関を追加し、広島市11機関、呉市9機関、江田島市3機関と個別に契約し、受診しやすい体制を整備した。子宮頸がんは、11月まで個別健診で前年度よりは受診者は増加した。乳がんは、がん検診受診勧奨を11月に通知を送付し、前年同月より受診者は5人増加した。令和5年度は、がん検診受診勧奨の通知に加え、受診勧奨対象を子どものいる母親とした受診率向上対策を検討する。					

【重点取組項目】救急医療・夜間休日診療体制の確保

【対象者】 市民

【内容】 医師会や他市町と連携し、救急相談窓口の運営や夜間休日等の診療体制を確保するため、呉圏域として呉市内の4つの医療機関で対応しており、市内で安心して暮らすことのできる医療体制を維持します。

	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)
【KPI】 連携する医療機関数	4機関	4機関	4機関	4機関	4機関
実績及び実績見込み	4機関	4機関			
《成果と見直し》 令和4年度も呉市内4医療機関及び医師会等の協力のもと、救急医療・夜間休日診療体制を確保できた。引き続き、現体制を継続していく。					

【重点取組項目】介護予防に関する取組

【対象者】 65歳以上の市民

【内容】 フレイル(加齢とともに、心身の機能が低下し、要介護状態に陥る危険性が高まっている状態)予防を目的として、足腰の筋力や体力に衰えを感じている人や自宅に閉じこもりがちの人を対象に、介護予防教室を開催します。
今後も、介護予防・健康づくりに必要な3本柱「運動・栄養・口腔」に重点を置いた教室内容を検討し、参加者に介護予防の必要性を普及・啓発します。また、地域に帰った後も、みんなで支え合い、一緒に介護予防ができる場として住民主体の通いの場を提供し、地域における介護予防活動の取組を推進します。

	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)
【KPI】 年間参加者数	180人	180人	180人	180人	180人
【想定人口効果】	[直接分+0.45人] [経済分+0.09人]	[直接分+0.45人] [経済分+0.09人]	[直接分+0.45人] [経済分+0.09人]	[直接分+0.45人] [経済分+0.09人]	[直接分+0.45人] [経済分+0.09人]
実績及び実績見込み	62人	83人			
《成果と見直し》 新型コロナウイルス感染症の影響により、教室の規模を縮小し、内容を充実させたため、実績数値は低くなった。今後も参加者が安全に安心して教室に参加できる対策を講じながら介護予防活動を推進する。					

プロジェクト2 出かけていく場をつくる。

【重点取組項目】高齢者が人と交わることができる場の確保(サロンや子どもとの昔遊びなど)(WS)

【対象者】 市民

【内容】 認知症の人やその家族、子どもや若い人など、誰でも気軽に訪れることができる認知症カフェを推進します。認知症について学ぶだけでなく、集まった人と気軽に話をしたり、講話を聴いたり、そこに行けば誰かに会え、地域とつながりが持て、人と関わり、困り事を相互に助け合うことができる地域の構築を図ります。
また、認知症サポーターを養成し、認知症の人もそうでない人も、ともに暮らし、住み慣れた自宅、地域で生活し続けていくために、多くの人が認知症を知り、普段の暮らしの中で認知症の人を見守り、できる範囲で手を差し伸べられる社会の仕組みづくりを推進します。

	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)
【KPI】 認知症カフェの箇所数・年間サポーター養成数	1箇所 60人	2箇所 60人	3箇所 60人	4箇所 60人	5箇所 60人
【想定人口効果】	[直接分+0.04人] [経済分+0.01人]	[直接分+0.08人] [経済分+0.01人]	[直接分+0.11人] [経済分+0.02人]	[直接分+0.15人] [経済分+0.03人]	[直接分+0.19人] [経済分+0.04人]
実績及び実績見込み	2箇所 53人	2箇所 66人			
《成果と見直し》 令和4年度においては、認知症カフェの箇所数及びサポーター養成数ともに目標を達成することができた。今後も認知症カフェ、サポーター養成数ともに新型コロナウイルス感染症の感染拡大に配慮しながら、目標に向けた取組を継続する。					

【重点取組項目】男性限定版の集まる機会の確保(WS)

【対象者】 在宅ぎみの男性高齢者

【内 容】 料理教室や趣味の講座など、在宅ぎみになりがちな男性高齢者が地域と交わる機会を増やすことにより、元気を保ち、要介護状態になることを抑制します。

	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)
【KPI】 集まる場の箇所数	—	1箇所	2箇所	3箇所	4箇所
【想定人口効果】		[直接分+0.04人] [経済分+0.01人]	[直接分+0.08人] [経済分+0.01人]	[直接分+0.11人] [経済分+0.02人]	[直接分+0.15人] [経済分+0.03人]
実績及び実績見込み	—	3箇所			
《成果と見直し》 男性高齢者が地域と交わる機会を増やすため、飛渡瀬・中町・鹿川の3箇所で男性料理教室を開催し、63人の参加者があった。令和5年度も引き続き、在宅ぎみになりがちな男性に対して、料理教室をきっかけにした集まる機会を増やしていく。					

【重点取組項目】地域の小さな単位でのフリーマーケット開催(WS)

【対象者】 地域住民

【内 容】 地域住民が主体となり家庭のものを持ち寄るフリーマーケットの開催を促進し、地域住民が出かけていく場づくり・交流の機会づくりを図ります。

	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)
【KPI】 開催場所数	—	1箇所	2箇所	3箇所	4箇所
【想定人口効果】		[直接分+0.13人] [経済分+0.02人]	[直接分+0.25人] [経済分+0.05人]	[直接分+0.38人] [経済分+0.07人]	[直接分+0.50人] [経済分+0.10人]
実績及び実績見込み	—	0箇所			
《成果と見直し》 地域住民が主体で実施している食生活改善の行事を行っている地区でフリーマーケットの提案を検討したが、新型コロナウイルス感染症の影響から、高齢者も多く、人との接触が多くなるため、令和4年度は開催に至らなかった。令和5年度は、フリーマーケットの実施に向けて調整を行っていく。					

【重点取組項目】図書館における企画の充実(WS)

【対象者】 地域住民

【内 容】 図書館を利用する人々が、健康で長生きし、よりよい老後を送るために考え、学ぶため、図書館において市の出前講座を活用・実施し、図書館と福祉保健部が連携することで、健康寿命を延ばすための情報拠点として集える場所として魅力向上を図ります。

	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)
【KPI】 開催回数	1.5回	1.5回	1.5回	1.5回	1.5回
【想定人口効果】		[直接分+0.04人] [経済分+0.01人]	[直接分+0.04人] [経済分+0.01人]	[直接分+0.04人] [経済分+0.01人]	[直接分+0.04人] [経済分+0.01人]
実績及び実績見込み	1.0回	1.0回			
《成果と見直し》 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、高齢者を対象とした出前講座の開催はできなかったが、親子を対象にした栄養料理教室を出前講座で開催した。来年度以降、コロナの状況を考慮しつつ、開催回数を増やしていきたい。					

【重点取組項目】生涯学習活動の推進

【対象者】 地域住民

【内容】 地域住民の学ぶ意欲を高めるため、ニーズに沿った講座を実施し、生涯を通して学習できる場・環境を提供します。

	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)
【KPI】 講座回数(市民センター)・講座回数(交流プラザ及び公民館)	センター8回 プラザ等1回	センター9回 プラザ等1回	センター10回 プラザ等2回	センター11回 プラザ等3回	センター12回 プラザ等4回
【想定人口効果】	[直接分+0.34人] [経済分+0.07人]	[直接分+0.38人] [経済分+0.07人]	[直接分+0.45人] [経済分+0.09人]	[直接分+0.53人] [経済分+0.10人]	[直接分+0.60人] [経済分+0.12人]
実績及び実績見込み	7回 2回	9回 3回			
《成果と見直し》 新型コロナウイルスの終息の目途は立っていないが、Withコロナとして感染症対策を講じながら講座を実施することができた。今後も様々な講座が実施できるよう、関係施設と調整を図っていく。					

【重点取組項目】高齢者の活躍の場の確保(シルバー人材センター)

【対象者】 高齢者

【内容】 シルバー人材センターの活動を支援することにより、高齢者がその知識・技能を活かせるような幅広い活動内容を洗い出し、PRすることで、男性会員だけでなく、女性会員も社会で活躍できる場を創出します。

	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)
【KPI】 女性会員の人数	50人	60人	70人	80人	90人
【想定人口効果】	[直接分+0.50人] [経済分+0.10人]	[直接分+0.60人] [経済分+0.12人]	[直接分+0.70人] [経済分+0.13人]	[直接分+0.80人] [経済分+0.15人]	[直接分+0.90人] [経済分+0.17人]
実績及び実績見込み	48人	46人			
《成果と見直し》 シルバー会員の高齢化により、脱会せざるを得ない会員が、新たに加入された会員数よりも多いため、女性会員数は、令和5年2月末時点で46人と令和3年度末よりも2人少なくなった。 シルバー人材センターでは、新たな会員の更なる拡大に向け、会員拡大推進員による会員拡大に向けた取組を検討しているため、市においては、引き続き、会員拡大・就業開拓部会及び女性部会へ積極的に出席し、女性が活動できる就労メニュー等の情報提供や助言等による支援を行う。また、市のイベントや行事でポスターの掲示や会員募集チラシを配布するなど、広く会員拡大に向けた支援を行う。					

プロジェクト3 みんなで支える体制をつくる。

【重点取組項目】通いの場運営サポーターの養成(WS)

【対象者】 通いの場のメンバー及び一般市民

【内容】 通いの場を継続し、通いの場の後継者を養成するため、通いの場メンバーだけでなく、一般市民へも広く周知します。また、中高年代からも介護予防に関心を持ち、介護予防活動を推進していくよう、体操の指導や計測を実施し、参加への呼びかけを行う人材(いきいきサポーター)を養成し、自分たちの居場所として主体的に通いの場を考え、取り組む組織づくりを促進します。

	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)
【KPI】 年間サポーター養成数	—	10人	15人	20人	25人
【想定人口効果】		[直接分+0.15人] [経済分+0.03人]	[直接分+0.23人] [経済分+0.04人]	[直接分+0.30人] [経済分+0.06人]	[直接分+0.38人] [経済分+0.07人]
実績及び実績見込み	—	0人			
《成果と見直し》 令和4年度においては、「通いの場」での話し合いによる後継者育成を行ったが、グループ内の高齢化による担い手不足は深刻化しており、サポーター養成に繋げることは出来なかった。 次年度においては、市広報や出前講座等を活用し幅広く募り、新たにマイレージポイントの対象とした「運動グループ」にも話し合いの対象を広げ、介護予防に関心を持ってもらうことで、サポーターの養成を図る。					

【重点取組項目】高齢者に対するケア・見守り活動

【対象者】 65歳以上の高齢者

【内 容】

独居高齢者、認知症や障害のある高齢者が、住み慣れた地域で安心・安全に生活することができるよう、見守りネットワーク登録者数を増やし、急病や災害時の緊急体制を整備します。また、社会福祉協議会等と連携し、見守り体制の強化を図り、日常生活における「孤立」、「孤独」といった不安の解決に努め、本人のみならず、家族や地域住民も安心して生活できる地域づくりを目指します。

	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)
【KPI】 見守りネットワーク登録者数	15人	20人	25人	30人	35人
【想定人口効果】	[直接分+0.15人] [経済分+0.03人]	[直接分+0.20人] [経済分+0.04人]	[直接分+0.25人] [経済分+0.05人]	[直接分+0.30人] [経済分+0.06人]	[直接分+0.35人] [経済分+0.07人]
実績及び実績見込み	12人	9人			
《成果と見直し》					
見守りネットワークは、地域に見守り支援員を増やし、見守ることで孤立化させない取組であるが、地域の担い手不足は深刻化しており、登録者数を増やすことは出来なかった。課題解決のためには、地域で実際に起こっていること(認知症高齢者が多いこと、地域の関係性が希薄になりつつあること)を地域内で知る機会の創出が必要である。現状を知ること(共有すること)により、見守りの大切さを地域内で認識していただき、見守りネットワーク登録者数を増やす。具体的には、生活支援体制整備事業を活用し、委託先職員との定例会議により、情報共有と連携を深めるとともに、社会福祉協議会が行っている「見守りネットワーク」の紹介を市のイベントや行事でポスターの掲示や募集チラシを配布するなど、登録者数の拡大に向けた支援を行う。また、職員が事業等で地域に出向いた際、認知症の正しい理解や孤立させない地域づくりについて地域住民に話し、地域に関心を持つ人(担い手)の育成を行う。					

【重点取組項目】住民相互の送迎や乗り合わせによる移動の推進(WS)

【対象者】 交通が不便な地域に住む住民

【内 容】 地域住民等が主体となった送迎に関する方法や手続について、広報誌やHPで周知を図るとともに、実施に向けた相談を受ける窓口を設けます。

	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)
【KPI】 周知回数	—	広報紙年1回 +HP	広報紙年2回 +HP	広報紙年2回 +HP	広報紙年2回 +HP
【想定人口効果】		[直接分+0.002人] [経済分+0.000人]	[直接分+0.003人] [経済分+0.001人]	[直接分+0.003人] [経済分+0.001人]	[直接分+0.003人] [経済分+0.001人]
実績及び実績見込み	— —	広報紙0回 HP500件			
《成果と見直し》					
住民相互の送迎や乗り合わせによる移動の推進について、市HPで周知を図る。また、福祉部門や社会福祉協議会とともに、移動手段について考える地域住民を含めたサロンを開催しており、地域の意向を踏まえながら、具体化に向け検討していく。					